

---

# CSR報告書2015

---

素材のチカラを  
未来のタカラに

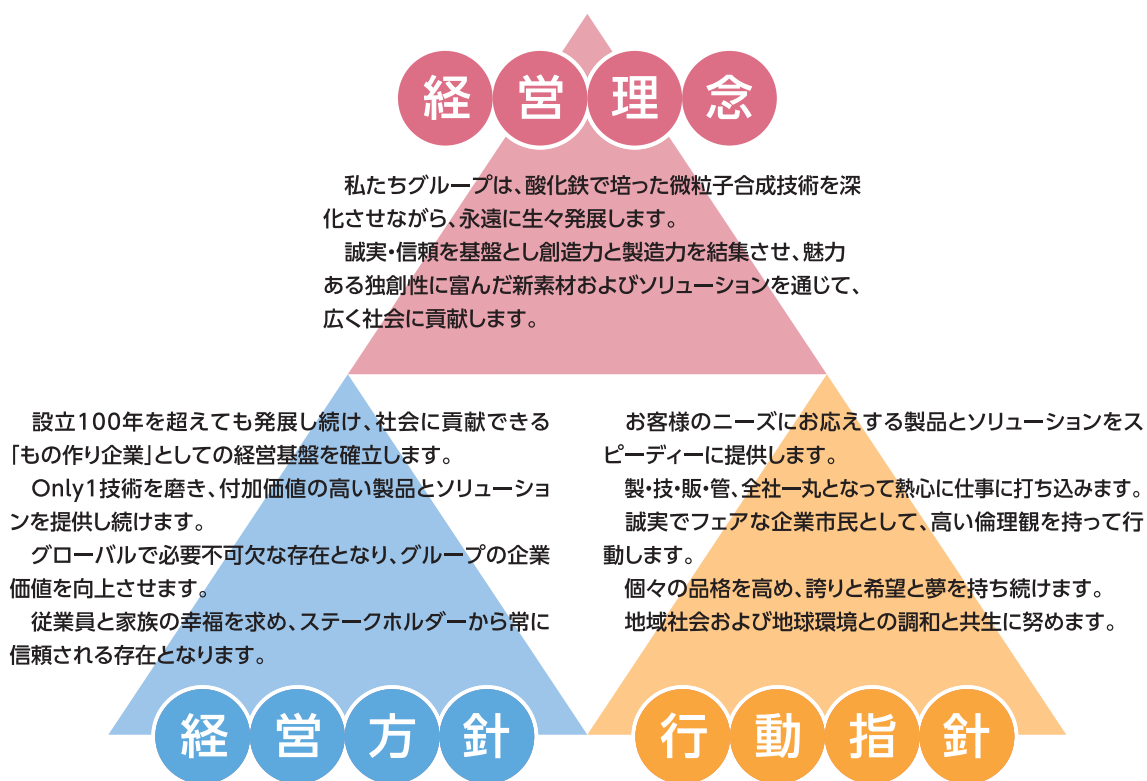
# CONTENTS

---

戸田工業グループの経営理念とCSR方針	3
戸田工業グループの事業内容	4
経営者メッセージ	5
特集① ウェアラブル市場への展開	6
特集② 安全・ものづくり道場	8
投資家の皆様に向けて	10
1) コーポレート・ガバナンス	
2) 事業の概況(2014年度)	
3) IR説明会	
お客様、取引先の皆様に向けて	12
1) 製品責任を果たすために	
2) お客様からの問合せへの対応状況	
3) 人権を守るために	
社会に向けて	14
1) マネジメントシステムの導入状況	
2) 温暖化対策	
3) 防災活動/BCP・BCM	
4) グリーン調達活動	
5) 社会や地域とのかかわり	
6) 生物多様性への取り組み	
7) コンプライアンス	
従業員に向けて	19
1) 安全・衛生活動	
2) 働きやすさ	
3) 採用/人財育成/研修制度	

# 経営理念、経営方針、行動指針

戸田工業グループでは、2014年度に経営理念、経営方針、行動指針を刷新いたしました。役員・従業員一同、日々これらの理念等に立ち返り、各自の役割・業務に当たっております。



## CSR方針

戸田工業グループは、将来への継続的で健全な發展のために、経営理念・経営方針に基づく経営を継続的に行うとともに、よりよき市民、よりよき企業市民として、社会的責任の実現が重要な役割であることを認識し、コンプライアンスの精神を土台として関係法令および

社内諸規程、規則を遵守し、企業トップ自らが率先垂範の上、社内に徹底するとともに、グループ企業や取引先に周知させます。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ち、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは関係を持ちません。

### 1. 投資家の皆様に向けて

創造的な技術に裏付けされた質の高い成長による成果の蓄積・提供、透明で健全なコーポレート・ガバナンス体制および有効な内部統制の整備・運用により、投資家の皆様の理解と共感を得る活動に努めます。

### 2. お客様、取引先の皆様に向けて

お客さまから見た価値観を共有し、独自に開発した技術力を武器とし、志を同じくする取引先業者と、よきパートナーシップで連帯します。そして、誠心誠意、目標に向けて互恵の努力を続けます。

## CSR：4つの指針

### 3. 社会に向けて

コンプライアンス精神に則り反社会的勢力との関係を断ち、安全と地球環境への配慮を何物にも優先させ、地域社会と連携し国際社会との協調を図りながら、持てる文化資本をベースに、グローバルレベルの素晴らしい生活文化を作ります。

### 4. 従業員に向けて

従業員一人ひとりの獨創性と多様性が、私たちの財産です。その能力の限りない飛躍と活動を応援し、公正に評価します。そして従業員のゆとりと豊かさの充実に努め、ともに生活していくことを目指します。

# 戸田工業グループの事業内容

戸田工業は、湿式合成から始まるナノテクノロジーをベースに事業展開しています。

酸化鉄は鉄と酸素の結合の仕方によって、色や硬さ、強度、磁性、化学的特性などが異なってきます。

戸田工業の湿式合成技術の特徴は、こうした粒子の特性をコントロールし、求められる機能や特性に合わせて、酸化鉄などの素材を自由自在に作り分けることができることです。この湿式合成から始まるナノテクノロジーの蓄積は、戸田工業のコアコンピタンスとなっています。

酸化鉄を核にした高度に専門的な知識・技術・ノウハウの集積は、顧客の抱えている課題に新しい角度から光を当て、素材の視点からの解決法、ソリューションを生み出しています。

近年では、金属対応ICタグやRFIDアンテナシートなど、素材を知り尽くした戸田工業だからこそできる電子部材の開発・製造を進め、高度化する顧客のニーズに応えています。

これからも、戸田工業グループ一丸となり、素材を通じて、情報・環境・エネルギーを支えるソリューションを提供してまいります。



## 経営者メッセージ



代表取締役社長

たからぎ  
寶來 茂

戸田工業は、磁器の絵付けやベンガラ格子などで知られる酸化鉄着色顔料の製造会社として江戸時代末期に創業以来、およそ200年の歴史を有する化学素材メーカーです。酸化鉄のトップランナーとして、多種多様な酸化鉄の製造はもちろん、微粒子合成技術を活かした素材やパーツを世界の先進企業をはじめとする多くのお客様に提供し続けてまいりました。

我々はメーカーとして、お客様のニーズに応える製品を継続的に供給することが重要な責務であると認識いたしております。またお客様や従業員、株主や地域社会の皆様に対する社会的責任も負っており、会社を生々発展させることを通じてこれらの責任を果たしてまいりたいと考えております。

2015年度に「CSR・知財本部」を新設し、企業としての社会的責任をより強く意識した事業活動が行えるよう、体制を強化しました。その活動の一環として、ここにCSR報告書を作成いたしましたので、戸田工業が日々の事業活動によってどのように社会的責任を果たしているかをお知りいただくとともに、今後とも引き続きよろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

私が戸田工業の代表取締役に就任してから2年余りが経ちました。その間、Toda Step Oneと称する中期経営計画を策定し、継続性のある会社となるための体質強化に取り組んでまいりました。

企業の使命は「継続すること」であるというのが私の信条です。なぜ「継続」が使命なのかというと、企業を取りまくステークホルダー、すなわち、お客様・お取引先の皆様、地域社会の皆様、株主の皆様、従業員を満足させ、幸せにするためには、会社が継続することが必須であるからです。

今後とも、戸田工業グループが継続し続けるために、ステークホルダーの皆様とも協力して、自らの経営責任を果たしてまいります。



代表取締役会長  
久保田 正

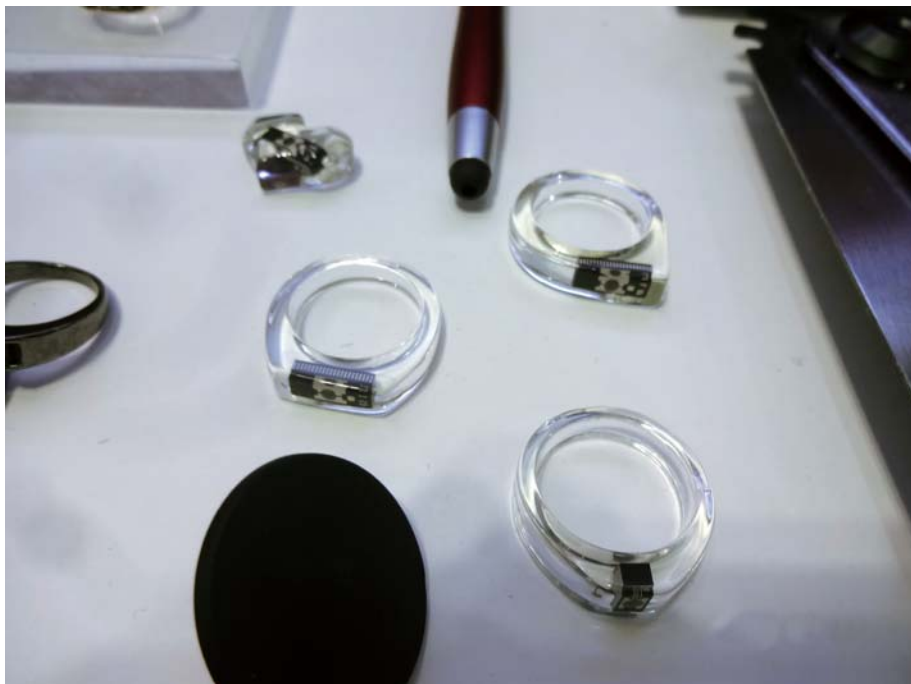
## 特集① ウェアラブル市場への展開

戸田工業では、2001年からEMC（電子機器などが備える、電磁的な干渉性および耐性）向けにフェライトシートを開発・製造しています。また、2007年からは、このフェライトシートの技術を用いた部品であるICタグの開発・製造も行っています。これらは、各種

物品のトレーサビリティ管理やNFC（Near Field Communication）デバイスなどに使用されるほか、最近では、指輪などのアクセサリに搭載してコミュニケーションツールとして使用されるなど、その用途を拡げてきています。



<戸田工業のICタグ (中央左下) とこれを埋め込んだ指輪>



<指輪サンプルに埋め込まれたICタグ (試作サンプル) >

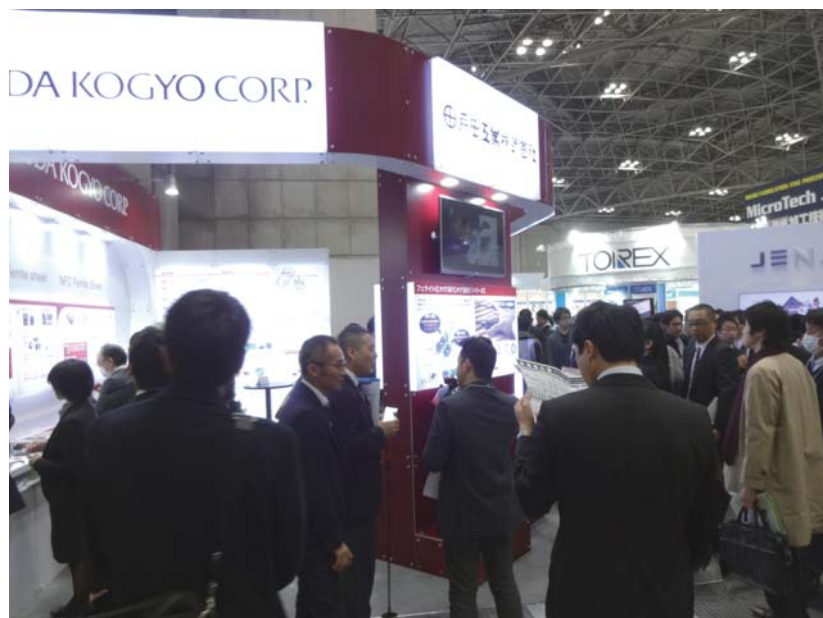
上記の指輪など、身に付けられるデバイスを「ウェアラブル」といい、国際的にもその市場を拓けていますが、これを象徴するかたちで、2015年1月14日から16日まで、東京ビッグサイトで「第1回ウェアラブルEXPO～装着型デバイス 技術展」が開催されました。

戸田工業も、このウェアラブルEXPOに出展し、優

れた特性を持つフェライトシートや超小型サイズのICタグを大いにPRすることができました。他社と比べて、戸田工業では具体的な製品や実装したサンプルを多く展示し、ご来場いただいたお客様によりわかりやすく製品のイメージを伝えることに成功し、戸田工業の展示ブースは大変な盛況でした。



<NFCタグ関連製品の展示の様子>



<戸田工業の展示ブースの様子>

今後も、ウェアラブル市場への営業活動を継続し、拡販につなげてまいります。

なお、2015年夏には地元のJ1チームサンフレッチェ広島様とのコラボレーション製品 (ICチケット) の販売も行いました。

## 特集② 安全・ものづくり道場

2014年10月20日、戸田工業小野田事業所に、「現場の力を強くできる人財育成」を目的とした施設『安全・ものづくり道場』が開所しました。

開所式には、戸田工業の役員・執行役員のみならず、協力会社の代表の方にもご臨席いただき、テープカットや道場正門の除幕などが盛大に行われました。



<開所式：道場のテープカットの様子>

安全・ものづくり道場は、製造業である戸田工業の「安全・ものづくりの原理原則」や「長年培ってきた技能・技術」を、「気づき、考える」ことを通して学び、現場の力を強くできる人財を育成することを目的としています。道場を開設した場所は、かつて、オーディオ・ビデオテープ用磁気記録材料を量産し、戸田工

業の成長・発展に大きく貢献した工程の一部です。歴史あるこの場所を活用して、製造業としての原点に戻り、ものづくり現場の力を鍛え直し、環境・時代の変化に適應できる人財を育成するための道場にしたいと考えています。



<道場館内の様子>



安全・ものづくり道場では、戸田工業グループで働く一人ひとりの安全意識の高揚を目指し、見て・触れて・考える体感型教育を行っています。道場のプログラムは座学と道場研修で構成されており、座学ではグループワーク等を通じて安全の基本である



2014年度は計5回、55名が受講しました。現場のあるべき姿を再認識して課題を見える化し、環境・時代の変化に適応できる「人づくり」を目指しています。また、安全意識の向上を図るツールとして、ポケットサイ

「5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）」や「指差呼称」の有効性を学んでいます。また、道場研修では座学で身につけたことを実践し、かつ、模擬体験装置による仕掛けを体感することで危険に対する感受性を高めています。



ズの冊子「安全心得」を製作しました。本冊子は安全憲法や安全作業に関するポイントを盛り込み、自主的安全管理やゼロ災を推進する内容となっております。



<安全心得>

今後も、安全体感研修の本格的な運用と充実を図るとともに、現場の異常に感度よく適応し、自ら問題解決できるものづくり研修の準備を行い、現場力を向上できる道場の運営に取り組んでまいります。

# 1. 投資家の皆様に向けて

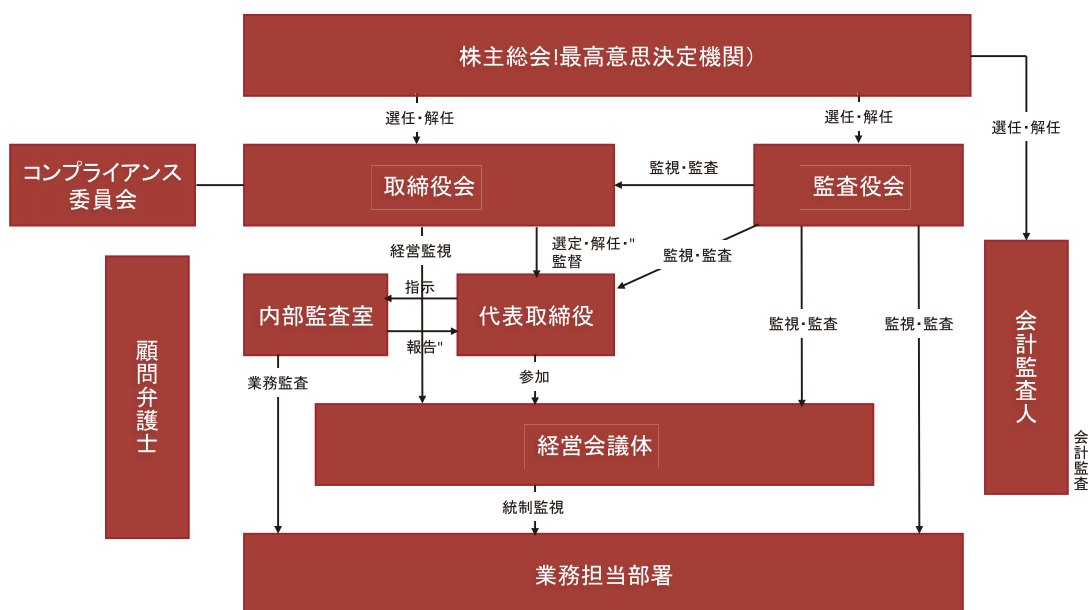
## 1) コーポレート・ガバナンス

戸田工業は、企業経営の公平性・健全性・透明性・効率性を確保し、維持・推進するため、コーポレート・ガバナンス原則を定め、これを運用するとともに、下図のような経営体制を整えています。

### コーポレート・ガバナンス原則

戸田工業グループは、よりよき市民、よりよき企業市民として、社会的責任の実現が重要な役割であることを認識し、将来への継続的で健全な発展のために、経営理念・経営方針に基づく経営を継続的に進めてまいります。コンプライアンスの精神を土台として関係法令および社内規程等を遵守し、企業トップ自らが率先垂範の上、社内に徹底するとともに、グループ企業や取引先に周知させます。さらに、反社会的勢力および団体との不適切な関係を持ちません。そこで、取締役会の機能である株主代表としての執行のモニタリング機能を強化し、透明性ある経営を推し進めるとともに、環境変化に迅速に対応できる俊敏なコーポレート・ガバナンスを目指して行きます。さらに、適切な情報開示により、株主および市の他のステークホルダーの権利と利益を平等に守るために、以下の原則を定めてその実現に努力します。

- ① 株主の権利の保護に努力します。
- ② 株主の平等性の確保に努力します。
- ③ 株主以外のステークホルダーとの円滑な関係の構築に努力します。
- ④ 情報開示と透明性の確保に努力します。
- ⑤ 経営の監督を充実させ、株主に対するアカウンタビリティが確保されるように努力します。



<コーポレート・ガバナンス推進体制>

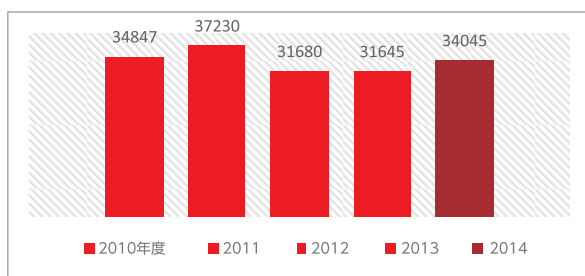
## 2) 事業の概況(2014年度)

戸田工業グループにおきましては、コア事業である着色材料や磁石材料等の売上が増加し、リチウムイオン電池正極材料等の売上也堅調に推移したことから、売上高は34,045百万円(前期比7.6%増)となりました。製品の採算性の改善、諸経費の削減等もあり、営業利益は912百万円(前期は営業損失801百万円)となり、経営目標に掲げていた営業利益率も2.7%に大幅改善いたしました。また、経常利益は963百万円

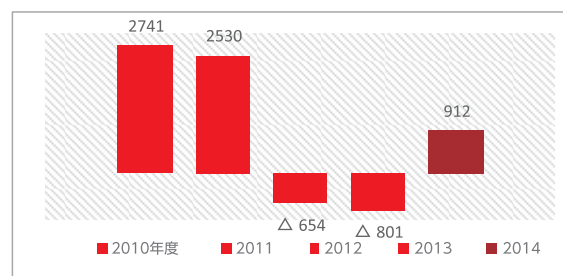
(前期は経常損失409百万円)となりました。

なお、リチウムイオン電池正極材料事業子会社の持分の一部をBASFジャパン(株)に譲渡したことに伴う事業譲渡益2,015百万円、貸倒引当金繰入額999百万円および減損損失714百万円等があり、当期純利益は559百万円(前期は当期純損失1,739百万円)となりました。

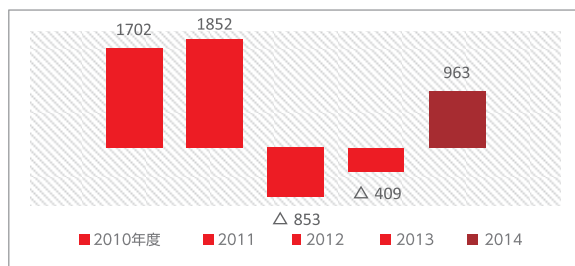
▶売上高  
(百万円)



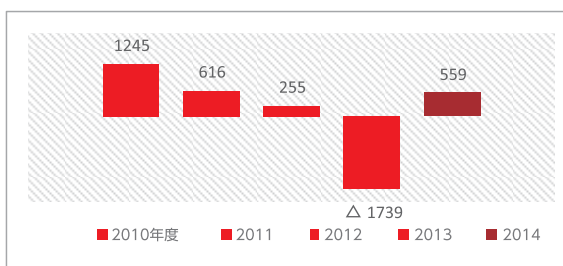
▶営業利益または営業損失 (△)  
(百万円)



▶経常利益または経常損失 (△)  
(百万円)



▶当期純利益または当期純損失 (△)  
(百万円)



なお、リチウムイオン電池正極材料事業については、国内では、上記の事業譲渡に伴い設立したBASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社(34%出資)で、また海外では、北米の子会社(Toda America Inc. およびToda Advanced Materials Inc.)で継続して行っております。



<BASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社設立時記者会見にて>

## 3) IR説明会

戸田工業では、投資家、アナリストや経済記者等を対象に、年2回IR説明会(決算事業報告会)を開催しております。

## 2. お客様、取引先の皆様に向けて

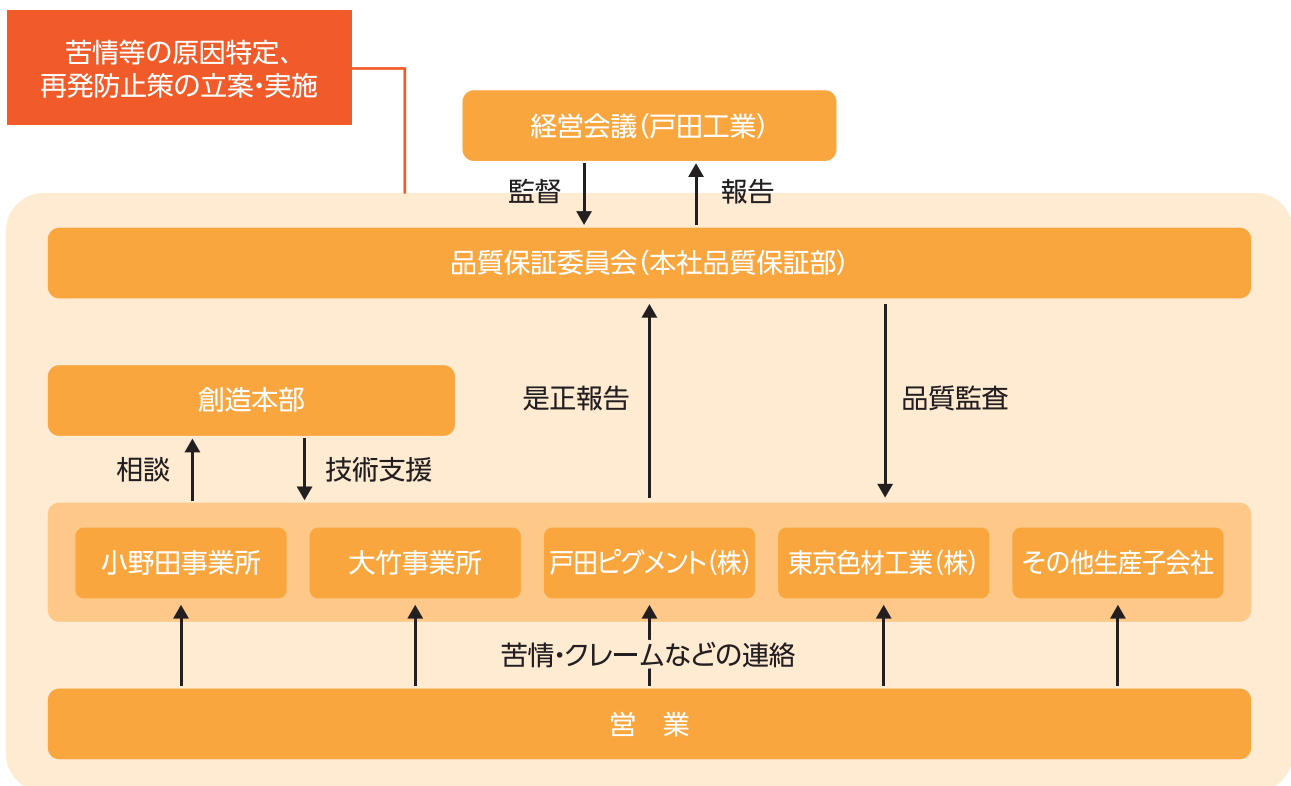
### 1) 製品責任を果たすために

戸田工業グループでは、「継続的改善活動を展開し、顧客の信頼と満足を得る品質を提供する」という品質方針を定め、以下の品質保証活動を推進しています。これらの品質保証活動をより実効的に進めるため、2015年度より、CSR・知財本部に品質保証部を

設けました。品質保証部では、戸田工業グループの製造部門に対する品質監査を行うほか、営業部門に届けられるお客様からの苦情・クレーム等に対する原因特定、再発防止策の立案・実施の作業も現場とともに行います。

### 品質保証活動の指針

1. ISO-9001シリーズの要求事項の遵守を確認するとともに、品質保証システムのレベルアップを目的とした品質監査を実施しています。
2. 法規制およびその他の要求事項の遵守状況を確認しています。
3. 戸田工業グループの製品の品質向上のため、品質の分析、関係部門に対する改善指導および定期的な品質に関する検討会議（品質保証委員会）を行うことにより、総合的な品質改善を推進します。



<品質管理体系図>

## 2) お客様からの問合せへの対応状況

お客様からは、日々、製品やCSR等に関するお問合せをいただいております。戸田工業グループでは、これらのお問合せについて、自らを見直すよききっかけと捉え、100%回答することを目標に掲げておりま

す。また、当社の回答から洗い出された課題について、対応する部署を決めた上で解決に向けて取り組んでおります。

## 3) 人権を守るために

戸田工業グループでは、原材料の購入からお客様に製品をお届けするまで、サプライチェーン全体において、人権を尊重した取り組みを進めています。2010年度からは、CSR行動規範で明確に「人権の

尊重」について定め、グループ全体における重点項目として、調達先へのモニタリング等にも取り組んでいます。

### **人権の尊重、雇用、労働** -CSR行動規範より-

戸田工業グループは、相互理解の前提となる基本的人権を常に尊重します。また、戸田工業グループは、人種、信条、性別、社会的身分、国籍、疾病、障害等による差別は行いません。

#### (1) 一切の差別の排除

役員および従業員は、個人の基本的人権を尊重し、いかなる差別的言動、暴力行為、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント等、人権を無視する行為をしてはならない。

#### (2) 個人のプライバシーの保護

役員および従業員は、事業活動上社内外の個人情報に接する場合には、その取扱いに当たって、個人のプライバシーが侵害されることのないよう細心の注意を払うとともに、適切に管理しなければならない。

#### (3) 不当な労働の排除

役員および従業員は、不当な労働を排除しなければならない。また、各国・地域の法令が定める、雇用最低年齢には満たない児童を仕事につかせてはならない。役員および従業員は、戸田工業グループと同様の対応をご販売店・ご協力会社にも求めなければならない。



### 3. 社会に向けて

#### 1) マネジメントシステムの導入状況

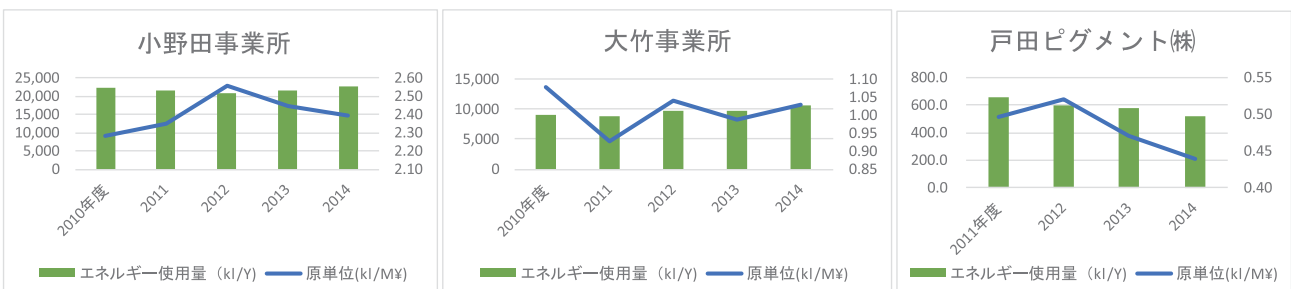
戸田工業グループでは、以下のマネジメントシステムを認証取得し、事業活動におけるPDCAサイクルを回しています。

ISO9001 ISO14001 OHSAS18001	ISO9001 ISO14001		ISO9001
小野田事業所 大竹事業所	大竹創造センター	浙江東磁戸田磁業有限公司	Toda America Inc. 戸田磁鉄(深圳)有限公司
	戸田ピグメント(株)	徳清戸田三峰顔料有限公司	
	TODA ISU CORPORATION	戸田麦格昆磁磁性材料(天津)有限公司	
	戸田フェライトコリア(株)	戸田塑磁材料(浙江)有限公司	

#### 2) 温暖化対策

小野田事業所、大竹事業所および戸田ピグメント株式会社におけるエネルギー使用量と原単位に関するデータをご紹介します。エネルギー原単位の改善に向けた取組みを日々実施しておりますが、小野田事業

所および大竹事業所においては、取り扱う品目の変動等もあることから、エネルギー使用量・原単位とも減少の一途ということにはなっていない状況です。今後より一層の省エネ活動を推進してまいります。



また、2013年度には、サステナブルな社会の実現に資する取り組みとして、企業の環境経営を支援する日本政策投資銀行(DBJ)環境格付を受けました。



### 3) 防災活動／BCP・BCM

戸田工業では、各事業所で毎年1回防災訓練を実施し災害等に備えるとともに、主要拠点・グループ各社において事業継続計画(BCP)を作成しております。また、2012年度には、日本政策投資銀行(DBJ)より、DBJ BCM格付融資を受け、格付結果は「事業継続に対する取り組みが十分」と評価されております。



### 4) グリーン調達活動

戸田工業グループでは、調達方針の中で明確に「グリーン調達方針」および「紛争鉱物に関する基本方針」を定め、取引先の皆様の協力も得ながら、環境や人権に配慮した調達活動を行っています。

グリーン調達方針：資源保護ならびに環境保全に留意した調達活動を行います。

#### 紛争鉱物に関する基本方針：

コンゴ民主共和国及びその隣接国において、反政府勢力による重大な人権侵害や環境破壊が生じており、世界的に深刻な課題となっております。この地域で産出される鉱物(錫、タンタル、タングステン、金)の一部には、これらの勢力の資金源となっているもの(以下「紛争鉱物」と呼びます)があるとされています。

そうしたなか、米国で成立した「金融規制改革法」(ドッド・フランク法)において、米国上場企業は、「紛争鉱物」の製品への使用状況などについて、開示することを義務付けられました。

戸田工業グループは、こうした人権侵害や環境破壊に加担する意思はありません。戸田工業グループは継続的に、お客様やビジネスパートナーの皆様、業界団体等と連携を図りながら取り組みを進めてまいります。

戸田工業グループは、お取引様に対して電子業界CSRアライアンス(EICC)/Global e-Sustainability Initiative(GeSI)により確立された紛争フリー製錬所プログラム※に準拠した製錬所、または、その他の信頼のおける鉱物の採掘から加工、流通の経路を追跡するトレーサビリティプロジェクトにおいて紛争に加担していないと認定された製錬所からの調達をお願いしております。

※ 紛争フリー製錬所(CFS)プログラム:製錬所が扱う鉱物が紛争に加担していない調達源であることを第三者が認定するプログラム。

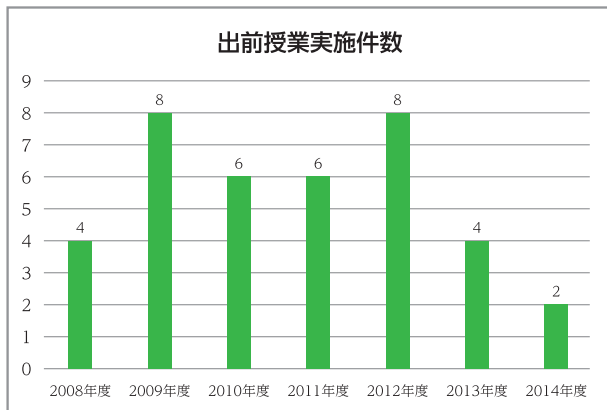
## 5) 社会や地域とのかかわり

### ① 出前授業、理科イベント

戸田工業では、2008年度から、広島県内の小中学生向けに工場見学会や理科の出前授業を行ったり、地域の理科イベントに参加したりしています。主な内容は、永久磁石やモーターを使った実験を、小学校高学年を対象として行っています。

子どもたちは、永久磁石にも色々な強さのものがあることを学んだり、紙コップとエナメル線コイルを用い

て「手作りモーター」を作ったりすることで、永久磁石や電磁石について学び、さらに永久磁石や小型モーターが身の回りの自動車や家電製品にも多数活かされているということを学びます。特に、手作りモーターの製作、実験では、自分のモーターがしっかり回るように熱心に作業を進める姿が印象的です。今後も出前授業等の活動を通じて、子どもたちに理科への関心を深めていってもらいたいと考えています。



<小方学園 (大竹市) での出前授業の様子>



<大竹事業所での工場見学の様子>

### ② 花いっぱい運動

戸田工業の大竹事業所の最寄駅である「玖波駅」周辺では、地域の皆さんが中心となって花いっぱい運動という駅周辺の美化活動を行っています。戸田工業のメンバーも、2011年からこの活動に参加し、春と秋の2回、花の植え替えを行っています。



<玖波駅前での活動の様子>



### ③エコキャップ運動

戸田ピグメント株式会社(岡山市)では、2013年度から、事業所内や従業員の家庭で回収したペットボトルのキャップを近隣の岡山市立福渡小学校へ寄付しています。ペットボトルキャップ約2kgの売却益で、1人分のポリオワクチンを寄付することができます。地道な活動ではありますが、地域とのコミュニケーションという意味でもとても意義のある活動であるとの認識のもと、今後も継続していきたいと思っております。



<エコキャップ進呈の様子>

### 6) 生物多様性への取組み

戸田工業グループは、地球上の生物多様性を保全するために、以下の具体的な行動指針を定め、事業活動を推進しています。また、地域における生物多

様性の保全に向けた取組みにも、川の清掃やイベントボランティアなどで積極的に参加しています。

## 生物多様性行動指針

1. 生物多様性の保全を企業における重要課題のひとつと認識し、環境経営に取り組む。
2. 原材料調達方針を含む事業活動が生物多様性に与える影響を把握し、その影響の継続的な削減に努める。
3. 自らの事業活動はもとより、サプライチェーンとも連携した省資源、省エネルギー、3R(リデュース、リユース、リサイクル)を、継続的に推進する。
4. 生物多様性保全に寄与する製品の製造、技術開発、生産プロセス革新を推進する。
5. お客様、仕入先様、他の企業、NGO、教育・研究機関、地方自治体等とのコミュニケーションの拡充、連携・協力を努める。
6. 生物多様性の保全には従業員一人ひとりの活動が重要であることから、従業員への教育を通して、豊かな生態系の保護に対する認識を高める。



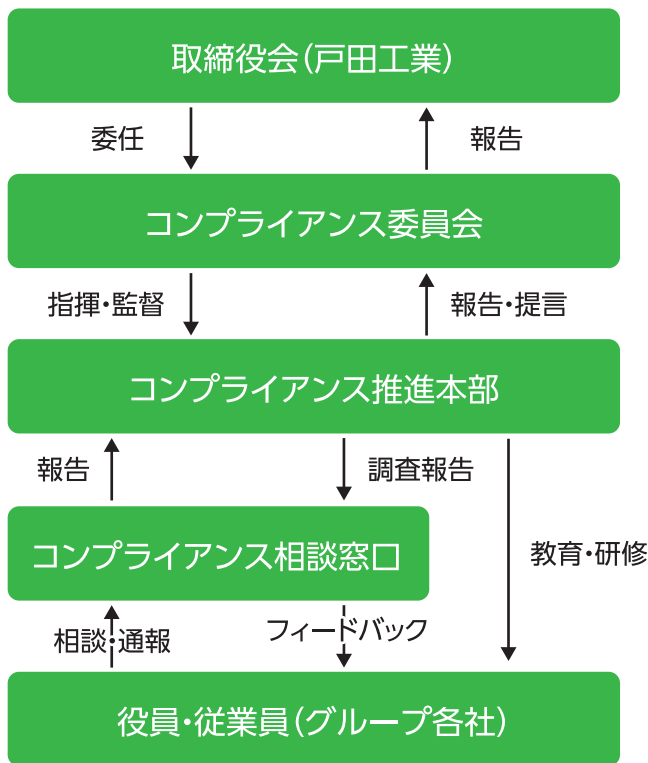
<小瀬川干潟観察会でのボランティアの様子>

## 7)コンプライアンス

戸田工業グループでは、役員、従業員一人ひとりが法令や社会規範、社内規程などを遵守した行動ができるよう、グループ会社全体に適用される「コンプライアンス行動規範」および「コンプライアンス推進規程」を定め、コンプライアンスの推進・徹底に努めています。その中でも、特に大きな課題として認識し、取り組んでいるテーマについてご紹介します。

### ①下請法の遵守

我々製造業者にとって、調達先との公正な取引はとて重要であるとの認識のもとに、下請法(下請代金支払遅延等防止法)を遵守するため、調達本部および各事業所の購買担当部署が中心となって定期的に調達先の資本金、支払条件などを調査し、適宜取引条件を見直すなどの対応を行っております。また、上記の担当部署の担当者が中心となって、外部講習の受講などを通じて下請法への理解を深めています。



## ②情報管理

スマートフォン、ノートパソコン等の普及やサイバー攻撃、コンピュータウイルスの多様化などによって、情報漏洩のリスクはあらゆる業種の企業にとって無視できないものとなっています。戸田工業グループにおいても、重大な情報漏洩事故につながりかねない事象が年に数回発生しており、情報管理の重要性を再認識しております。

戸田工業グループでは、2012年度に「情報管理規程」を整備し、パソコンや営業秘密の持出しの際の留意事項を明確に役員および従業員に示すとともに、2014年度末には、戸田工業で「IT資産管理システム」をすべての会社貸与パソコンにインストールし、情報漏洩のリスクを未然に防止できるようにする等、より実効的な対策を導入しております。

また、情報管理に関しては、役員および従業員への啓蒙活動が肝要との認識のもと、社内キャラバンでの教育やコンプライアンスに関する壁新聞の発行等を通じて継続的な啓蒙活動を実施しています。



<コンプライアンスに関する壁新聞>

## 4. 従業員に向けて

### 1) 安全・衛生活動

戸田工業グループでは、CSR・知財本部 環境安全部および特集記事でも取り上げた「安全・ものづくりセンター」が中心となり、全社の安全衛生活動を推進しております。組織としては、これら以外にも、小野田、

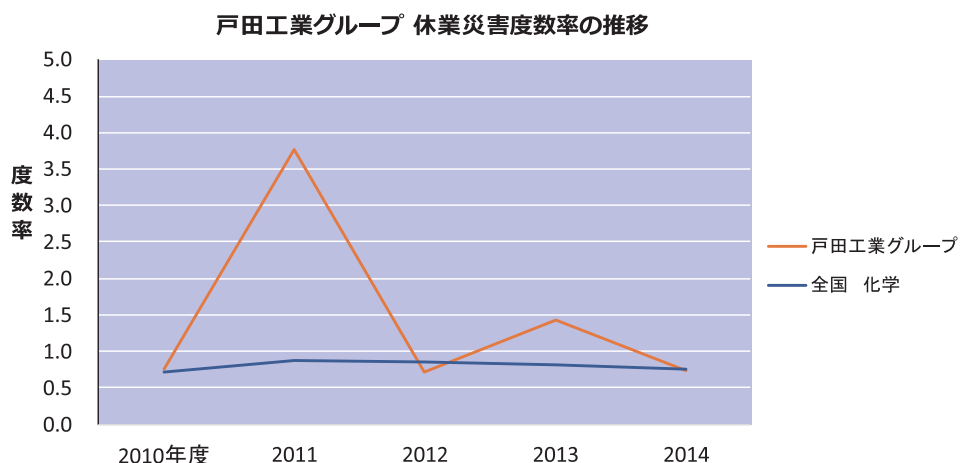
大竹の各事業所および各生産子会社に安全衛生委員会を設け、日々の製造活動における安全の確保に努めております。ここでは、戸田工業グループの安全憲法と、労働災害に関するデータをご紹介します。

### 戸田工業の安全憲法

前文) 戸田工業は安全第一の理念をもとにひとりひとりの家族を含めた幸福を守るために労働災害の防止に取り組む。

- 第1条 人命と人の安全を最優先する。
- 第2条 安全は全員参加で達成される。
- 第3条 安全人材の育成をおこなう。
- 第4条 不安全状態を放置せず、除去あるいは改善する。
- 第5条 安全は「5S」を基本とする。
- 第6条 すべての働く人は、定められた規則を守って作業する。
- 第7条 災害の原因究明と再発防止は徹底しておこなう。
- 第8条 事前のリスクアセスメントで本質安全を目指す。
- 第9条 快適職場の創造を追究する。

2014年度は休業災害が1件(軽傷)発生しました。2014年度に小野田事業所内に安全・ものづくり道場を開設、2015年度4月には本社にCSR・知財本部 環境安全部を新設し、安全衛生への取組みを強化しています。労働災害ゼロを目標に引き続き努力していきます。



※度数率 :100万延実労働時間あたりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表すもの。

## 2) 働きやすさ

戸田工業グループでは、職場が従業員一人ひとりの活躍の場となるよう、諸法令に従った施策を実施するとともに、職場全体でよりよい環境作りを心がけるよう働きかけています。ここでは、「働きやすさ」という観点から、2名の従業員の声をご紹介します。



### 障がい者雇用について

～経営管理本部 宮原幸治さん～

私は身体の障がいのため通院の必要があり、勤務時間に制約がありますが、就業時間を柔軟に考慮していただき、働きやすい環境を整えていただいています。そのため無理なく働くことができ、また健常者の方と同じように評価もいただいていることに感謝しています。

一方で、当社の障がい者雇用人数は法定雇用率をギリギリクリアするレベルであり、さらなる障がい者の雇用が求められています。そのためには働く環境の整備やより一層の障がい者に対する理解が求められています。引き続き障がい者にも優しい会社を目指すべく注力したいと思います。

### 育児との両立について

～大竹事業所 本田育子さん～

小学校1年生と3歳の子供がいます。2人とも1歳になるまで育児休業を取得し、職場復帰後は短時間勤務制度を利用しています。仕事と家庭の両立に理解がある会社なので、取得により理想のバランスを得ることができています。社内に両立する先輩方がいるのも心強いです。

急な病気や子供の授業参観等で休む際には部内で仕事のフォローもしていただいています。

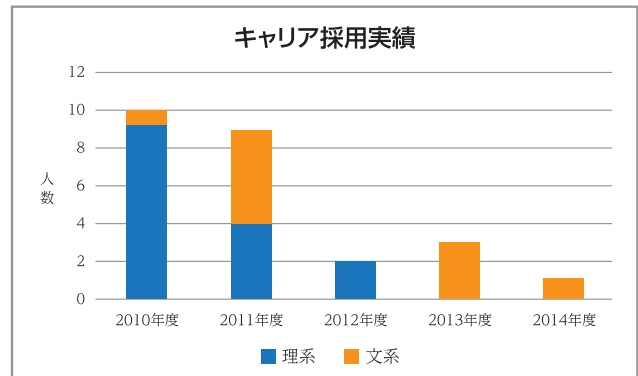
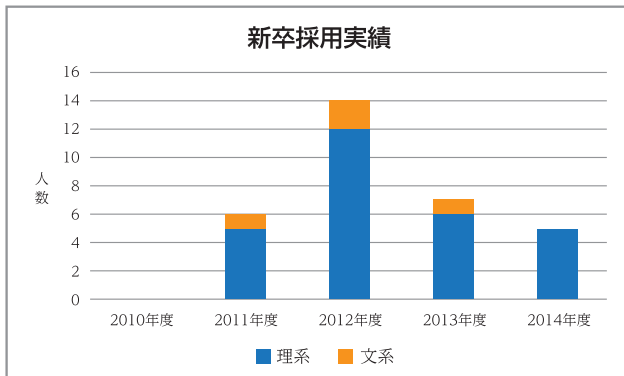
子育てに理解を示していただき、働きやすさを日々感じています。家族と一緒に働いている方の支えがあってこそワークライフバランスが実現しています。



### 3) 採用／人財育成／研修制度

#### ① 定期採用・キャリア採用

戸田工業では、毎年定期採用として日本全国から理系・文系の学生を採用しているほか、キャリア採用も適宜行っております。



#### ② 新入社員研修

新入社員研修は、以下のとおりとても充実した中身になっています。

##### 導入研修(1か月間)

- \*理系・文系関係なく、同じ研修を一緒に行う集合研修です。
- \*学生から社会人へ気持ち・頭・体の切り換えを行い、会社・社会を知るための研修です。
  - ・ビジネスマナー研修
  - ・社内研修(会社組織、製品についての講義、諸制度の学習、工場見学等)
  - ・禅寺研修



##### 現場研修(5か月間)

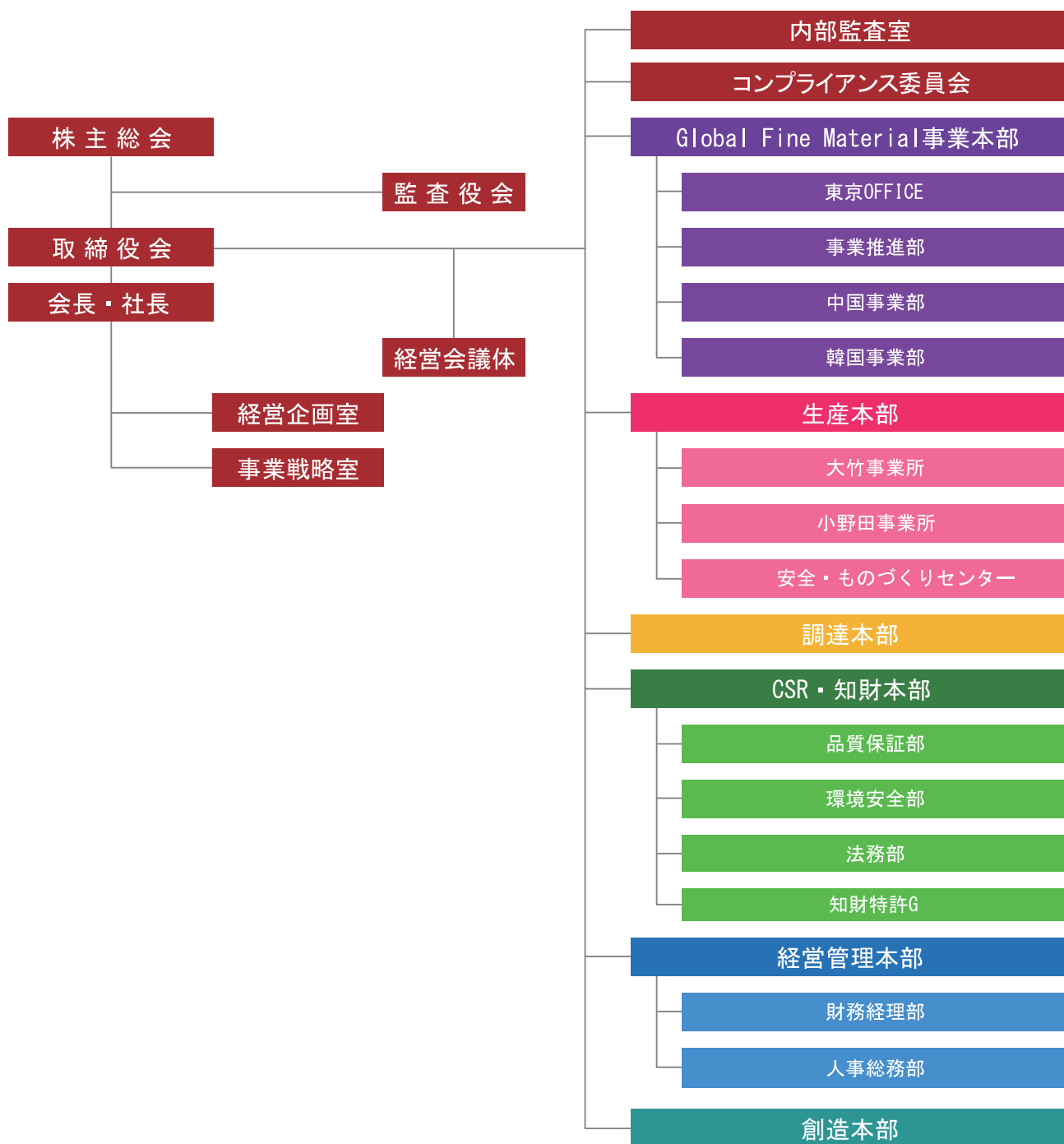
- \*実際に職場を体感し、現場を知るための研修です。

#### ③ 育成研修・能力開発研修

新入社員研修以外にも、市場において通用する人財としての能力、スキル等の向上のために、以下のような研修、教育制度を設けています。

OJT 職種別・能力開発	国内大学等への派遣、資格取得援助制度、安全衛生・品質管理教育等
OFF-JT 選抜教育	選拔式／階層別／重点課題研修 等
自己啓発 通信教育援助制度	各種コース(語学、経営、技術など多種多様)の中から、個人が自由に科目選択。優秀点で卒業すれば、受講料相当額を報奨。

# 組織図



## <会社データ>

社 名：戸田工業株式会社 TODA KOGYO CORP.

本店所在地：広島市南区京橋町1番23号

創 業：1823(文政6)年

設 立：1933(昭和8)年11月30日

資 本 金：74億77百万円

※2015年3月31日時点

# 拠点

## 国内



※BTBM=BASF戸田バッテリーマテリアルズ

## 海外





戸田工業株式会社は、サンフレッチェ広島を応援しています！



**SANFRECCHE**  
HIROSHIMA FC

